

『頭頸部がんについて』

頭頸部がんについて復習する。また、参加者の経験や知識を話し合うことで、情報を共有しあうことを目的とする。

【概要】

頭頸部がんの特徴、徴候、症状、病因、治療方法、化学療法、などの項目について用語解説などを交えながら解説する。

【形式】

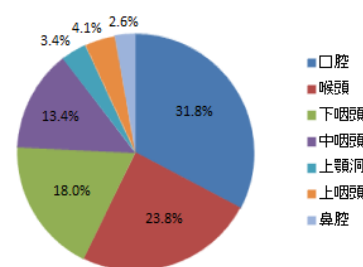
少人数の会なので、質問、疑問などは発表の途中で随時行われる。発表者が参加者に質問することもたびたびある。

【一部スライド参考画像】

特徴

頭頸部は顔面から頸部までの部分を指し、顔面頭蓋及び頸部臓器に発生する癌の総称が頭頸部癌である。なお、脳や脊髄、目、耳、食道に発生する癌は、頭頸部に含めない。頭頸部には咀嚼、嚥下、発声、呼吸など生活機能に重要な役割を果たす臓器が多く含まれており、これらが障害されると患者のQOLに非常に深刻な影響を及ぼす。

原発部位別にみた罹患数(日本)
全国集計 2164例 2002年



化学療法・放射線療法併用

CCRT:Concurrent chemoradiotherapy

放射線治療に加えて化学療法を同時に行う。目的は3つ。

- ①併用することでそれぞれの抗腫瘍効果が合わさり、強力な治療効果を得る
- ②放射線治療の効果を高める増感剤として化学療法を用いる
- ③放射線、化学療法で根治を目指し、機能温存を図る

用語メモ

Lhermitte's Syndrome:レルミット症候群、首を動かした際の痺れなどの症状

Raynaud (Raynaud?) Phenomenon:レーノー現象、寒さの刺激や精神的な緊張から四肢の先端の小動脈が発作的に収縮することにより、時間を追って手指の色調が変化する現象

テタニー:痺れ

吃逆(キツギャク):しゃっくり